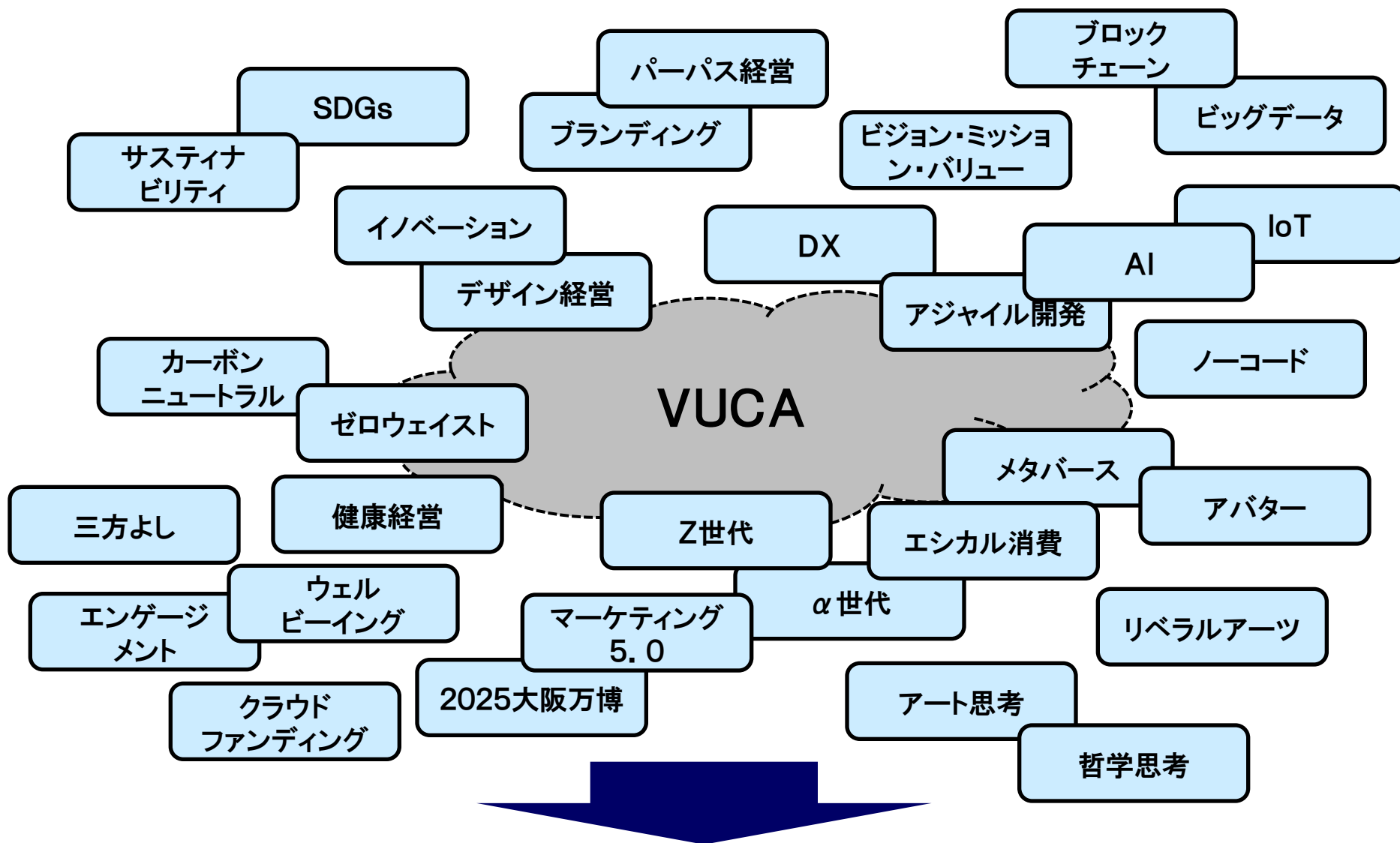


株式会社エスティー・クリエイティブ 御中

視座を高め、視野を拡げ
ゼロイチ発想力を鍛錬する
「妄想ワークショップ」導入ご提案

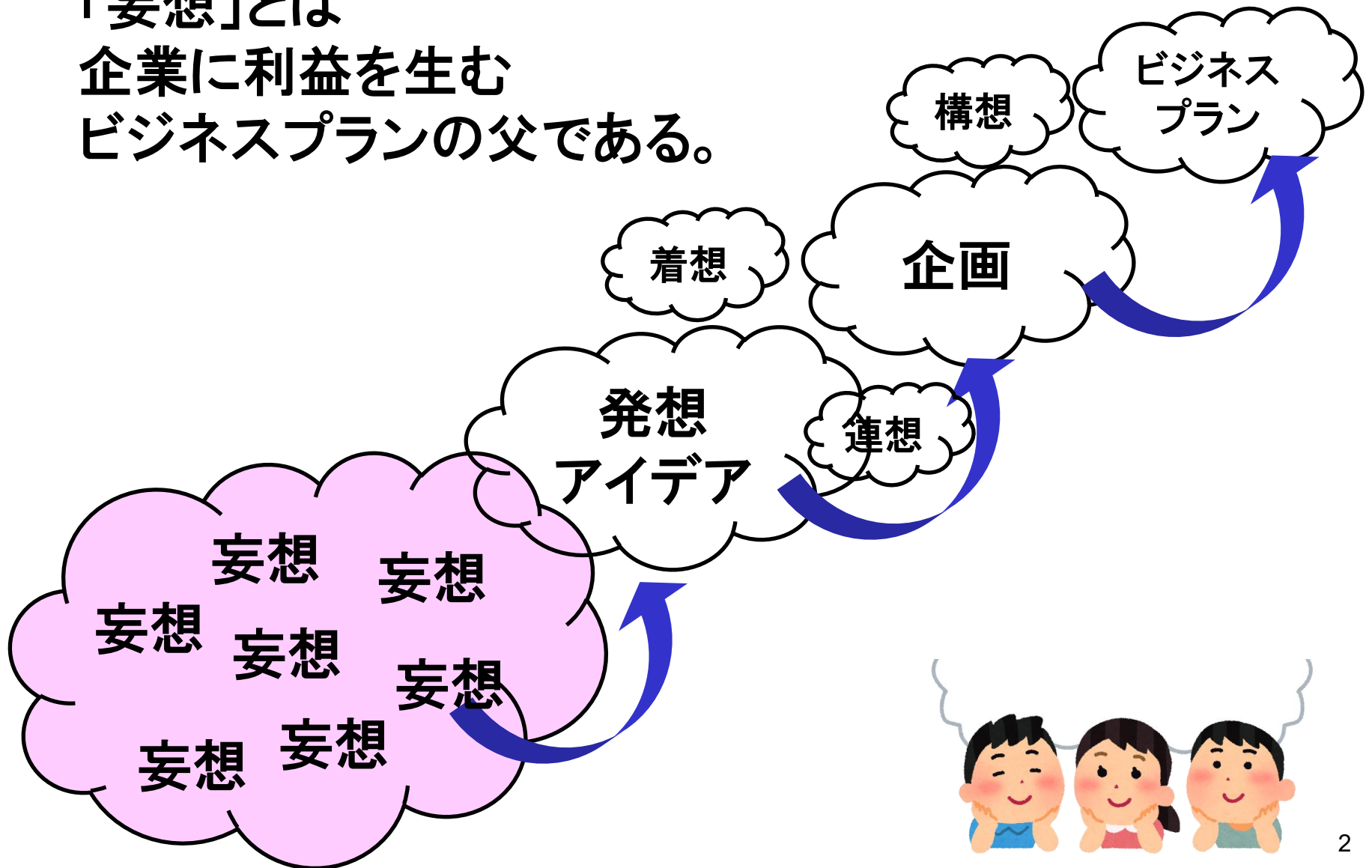
2026年6月15日



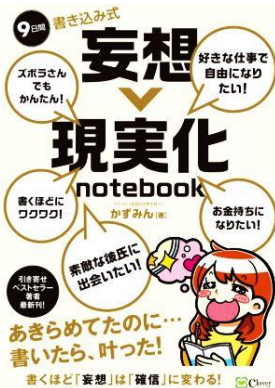


世の中の変化をチャンスと捉えてゼロイチで新ビジネスを生み出したい！

「妄想」とは
企業に利益を生む
ビジネスプランの父である。



「妄想」への期待感が高まっている？



2025年9月5日サンソウカンにて妄想ワークショップ開催

主催：大阪市・大阪産業創造館（公益財団法人 大阪産業局）

9/12 (金)
18:30-21:00

大阪産業創造館16F
セミナールーム



若手経営者・後継者限定
プログラム

会社もつ、土地・建物・お金などの「有形資産」や人・ノウハウ・ネットワークといった「無形資産」の価値をさらに上げるためには、社外や地域の資産と掛け合わせることも一つの方法です。

大阪でも、町工場を共創空間にリノベーションしたり、行政、企業、地域住民が協力しマルシェを開催したり、さまざまな資産を組み合わせ、価値を上げる取り組みが生まれています。

今回のサロンは、「自社資産」を活用し価値を生み出したい！と考えている若手経営者・後継者を対象に、大阪の地域マーケティングに精通する高橋健三氏が講師となり「本」を通じて「人」と出会い「まち」の個性を「まちライブラリー」の視座でも見る磯井純亮氏と、都市と地方をつなぐ、地域の魅力を編集する小田切聡氏を迎え、共創に必要な視点やヒントを共有します。

また、本サロンでは、専門家の知識共有だけでなく「妄想ワーク」で自社資産の価値を振り返り、参加者同士の交流で、価値を活かすための、新たなつながりを育みます。

異分野の専門家のアイデアを通して、漠然とした「想い」をこの機会に発散し、「何か始めたい」気持ちを行動に変えるヒントをつんでみませんか？

次世代を担うみなさんのご参加をお待ちしています。

こんな方におすすめ

- ・自社資産を活かし、地域とつながる「おもしろいこと」に挑戦したい
- ・受け継いだ資産（場所・建物・設備など）を活用するヒントを得たい
- ・社員や会社の可能性をもっと広げたい
- ・地域との共創に関心があるが、何から始めればいいのか迷っている

掛け算で資産が動き出す！
妄想からはじめる
ゆるやかな共創へのヒント

OSAKA未来共創サロン

●対象 20-45歳程度の企業経営者、後継者の方

●定員 40名 満席になり次第、締め切ります

●料金 2,000円/名（消費税込）

●講師



たかはし けんじ
高橋 健三氏
株式会社スマイルマーケティング
なにもマーケティングコーチ・CEO



いわせ じゅんりょう
磯井 純亮氏
一般社団法人まちライブラリー
代表理事



おたけ さとし
小田切 聡氏
株式会社インプレーション
代表取締役

OSAKA
未来共創サロン
とは？

本プログラムは、大阪で活躍する若手経営者、後継者を対象に、地域創生や教育、行政、クリエイターなど異分野のプロフェッショナルから協働や共創の新たな知見を学び、対話や交流を通じて、自社の枠を超えたアイデア創出やつながりを目的としています。

●内容

●第一部 知識の共有 高橋氏・磯井氏・小田切氏から知識の共有

大阪地域マーケティングの専門家である高橋氏がファシリテーターとなり、下記テーマで知識の共有をいただきます。
「まちライブラリーから生まれたコミュニティ創出」高橋氏・磯井氏
「ローカル価値から生まれた地域とのゆるやかなつながり」高橋氏・小田切氏

●第二部 妄想（＝自由な発想）×ワークショップ

- ・自社資産の洗い出し（個人ワーク）
- ・アイデアブレスト（グループワーク）
- ・ワークの振り返りと参加者交流



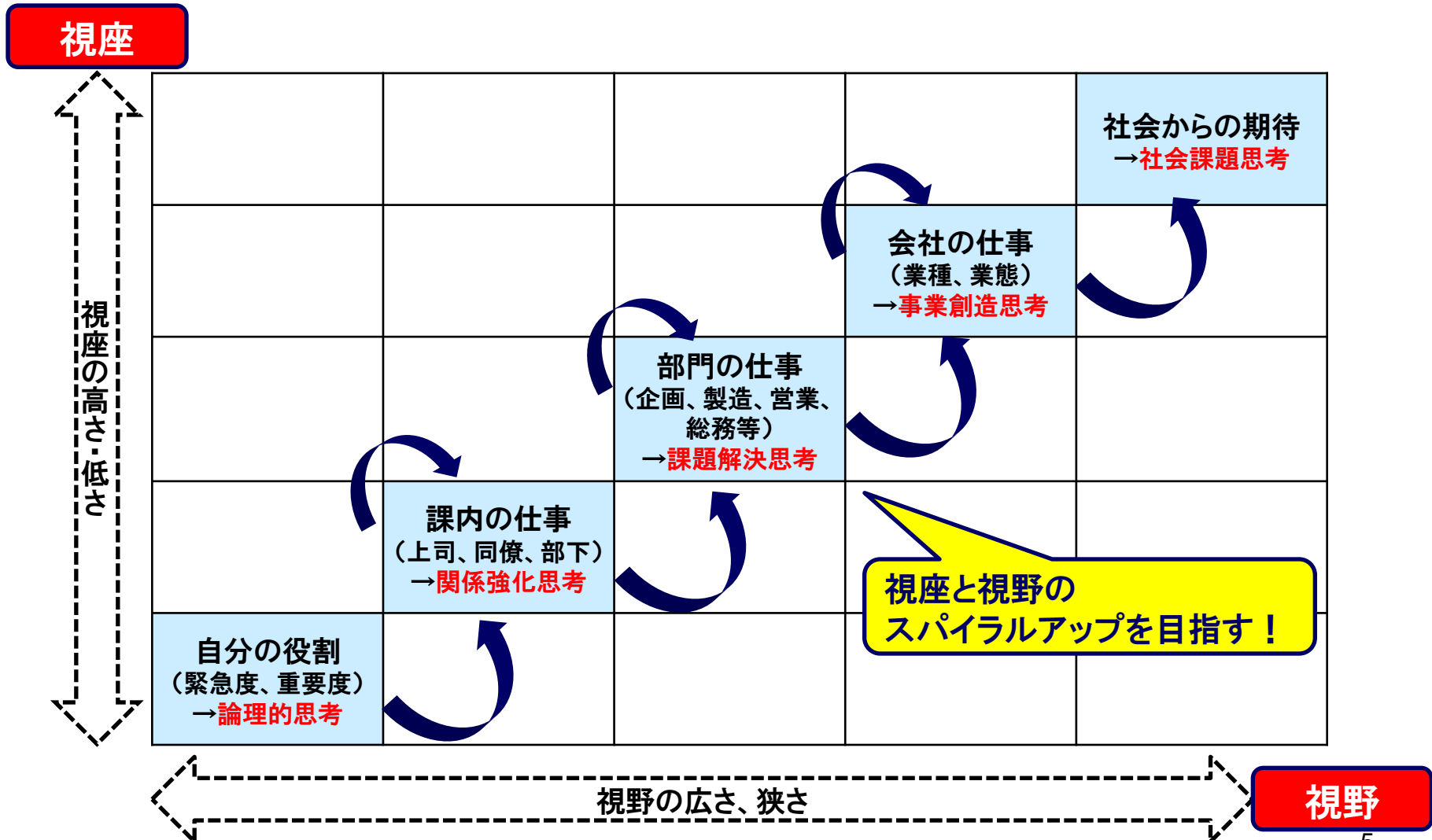
詳細・お申込はWEBサイトから

サンソウカンのホームページで
イベントNo. **46587** を入力して検索



お電話・メールでのお申込はできません。お申込はホームページからお申し込みください。（※ユーザー登録 ※ユーザー登録は無料です）
●お問合せ ●大阪産業創造館イベント・セミナー事務局（受付時間：月 10:00-12:00 13:00-17:30（祝日除く））
〒541-0053 大阪市中央区本町1-4-6 大阪産業創造館 TEL:06-6264-9911 FAX:06-6264-9909 E-MAIL:loper@samsoikan.jp
交通機関：Osaka Metro「堺筋本町駅」下車「中津線」1号出口「堺筋線」12号出口各徒歩約5分
※詳細の開催により、このセミナー（イベント）をやむを得ず変更又は中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

妄想ワークショップの狙いは、「視座を上げること」よ「視野を拡げること」この組み合わせによって、より高い次元で仕事ができる人材育成を目指します。



各テーマに精通するユニークなゲストスピーカーをラインナップ。一人喋り、二人喋り、全員喋りなど、バトルトークにより、広く、深く、楽しく妄想する場を提供します。

NO	テーマ	妄想ゲストスピーカー
1	イノベーション	竹林 一
2	グローバル	山中 俊之
3	ふるさとシェアリング	オダギリ サトシ
4	新商品開発	忽那 公範
5	デザイン経営	浪本 浩一
6	キャリアオーナーシップ	嶋田 崇孝
7	健康経営	阿部ジョージ雅行
8	地方発世界	中田 孝一
9	オーガニック	福井 佑実子
10	地域コミュニティ	礒井 純充
11	生成AI	青木 紘史
12	介護市場	川窪 伸也
13	プライス戦略	清水 憲彦
14	EC戦略	藏内 淑行

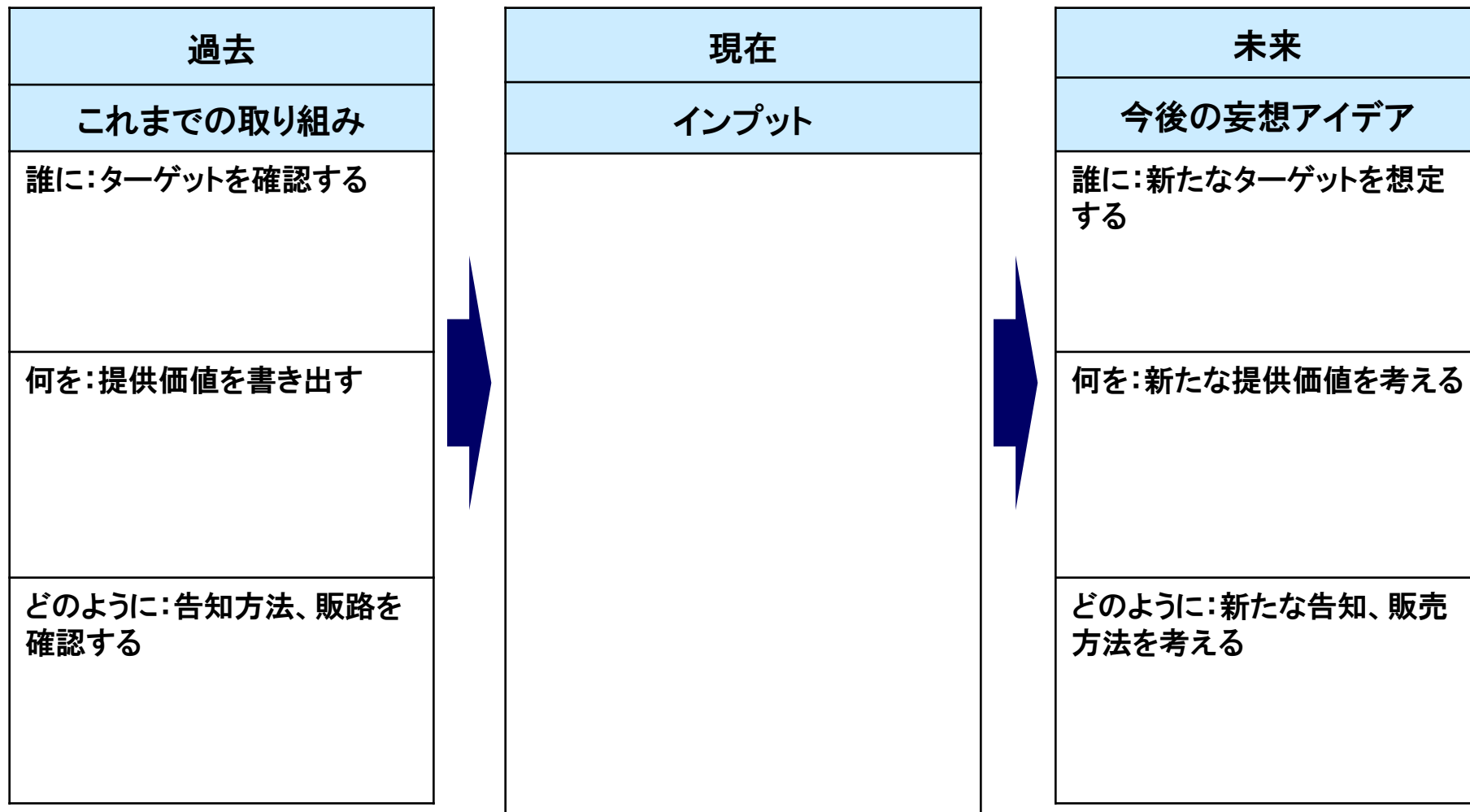
妄想ワークショップ所要時間:120分。

午前の場合:10時~12時、午後の場合:13時~15時、16時~18時などに設定

定員:最大15名まで。開催スタイル:リアル、リアル&オンラインのハイブリッド、オンライン

構成	時間	プログラム	登壇者	狙い
1部	10分	妄想オリエンテーション	高橋健三	短時間で妄想するための作法を紹介
	40分	ゲストスピーカートーク (1人語り)	例)イノベーションの場合 竹林一氏	テーマについて基本的な情報をインプットすることで概念を理解する
2部	20分	妄想対談 (二人語り)	竹林氏 & 高橋健三	トーク内容について気になる点を掘り上げてより深い理解を促す
3部	30分	妄想ミーティング (みんな語り)	スピーカー & 会場参加者	参加者が気になったことを投げかけて会場全体でディスカッションする
	20分	アウトプット	会場参加者	妄想フレームワークに沿ってアイデアを発表する
計120分				

参加者は過去、現在、未来の「妄想フレームワーク」に沿って新たなビジネスアイデアを妄想する。
ワークショップ開催後は、社内でアイデアコンテストを行い、有望なアイデアをビジネスプランに落とし込む。※ヒントに365本の「妄想ビジネスプラン集」を提供



四半期ごとに一つのテーマを設定し、年に4本のテーマに取り組むプログラム例です。

Q	月	テーマ	妄想ゲストスピーカー	目指すべきアウトプット
第1Q	4月	NO.6 キャリアオーナーシップ	嶋田 崇孝	自分の人生は自分が船長であることを理解し、強みを活かして活躍できるステージを妄想する
第2Q	7月	NO.11 生成AI	青木 紘史	日々技術が進化する生成AIを仕事やプライベートでどのように使いこなせるかを妄想する
第3Q	10月	NO.2 グローバル	山中 俊之	成長するグローバル市場を理解し、そこで戦うために必要な考え方を妄想する
第4Q	1月	NO.1 イノベーション	竹林 一	イノベーションの生み出し方を学び、自分の仕事で実践するための方法を妄想する

1. イノベーション

竹林 一 (たけばやし はじめ)



京都大学経営管理大学院 客員教授
元オムロン株式会社イノベーション推進本部 シニアアドバイザー
オムロン(株)にてプロジェクトマネージャ、新規事業の開発、オムロンソフトウェア代表取締役社長、オムロン直方代表取締役社長、ドコモ・ヘルスケア代表取締役社長、オムロン(株)イノベーション推進本部インキュベーションセンタ長、同シニアアドバイザーを歴任。
現在、京都大学経営管理大学院客員教授、麗澤大学特任教授、大阪大学フォーサイト(株)エバンジェリストおよび上場企業の社外取締役を務める。特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会PMマイスター。一般社団法人2030質価値創造研究会顧問。
著書に「たった一人からはじめるイノベーション入門」、「モバイルマーケティング進化論」「PMO構築事例・実践法、利益創造型プロジェクトへの三段階進化論」等がある。

2. グローバル

山中 俊之 (やまなか としゆき)



株式会社グローバルダイナミクス代表取締役

1968年兵庫県西宮市生まれ。下請け零細の鉄工所を経営する父親の後ろ姿を見て育つ。東京大学法学部卒業後、1990年外務省入省。エジプト、イギリス、サウジアラビアへ赴任。対中東外交、地球環境問題などを担当する。また、首相通訳(アラビア語)や国連総会を経験。外務省を退職し、2000年、日本総合研究所入社。2009年、稲盛和夫氏よりリナモリフェローに選出され、アメリカ・CSIS(戦略国際問題研究所)にて、グローバルリーダーシップの研鑽を積む。2010年、グローバル発想や行動ができる経営幹部育成を目的としたグローバルダイナミクスを設立。累計で世界97カ国を訪問し、先端企業から貧民街・農村、博物館・美術館を徹底視察。グローバル情勢理解、脱炭素社会&多文化共生社会実現の案件に多数関わる。
著書「アートを知ると、世界が読める」(幻冬舎新書)等15冊
ケンブリッジ大学大学院修士(開発学)。高野山大学大学院修士(仏教思想・比較宗教学)。ビジネス・ブレークスルー大学大学院MBA、大阪大学大学院国際公共政策博士。京都芸術大学学士。神戸情報大学院大学教授。
五感を満たす風光明媚な街・香美町(兵庫県)観光大使。

3. ふるさとシェアリング

小田切 聡
(おだぎり さとし)



株式会社インプリージョン代表取締役

大阪への観光集客プランナーとして、大手旅行会社や宿泊施設、鉄道会社、商業施設などの集客に差別化されたユニークなコンテンツを提供している。

コロナ期間を除きコンスタントに年間50万人以上の取り扱い実績がある。また大阪での実績をもって大阪以外の自治体やDMO、旅館組合等の顧問やアドバイザー、観光動態調査、分析、プランニング等各種コンサルティングも数多く実施している。

大阪商工会議所ツーリズム 振興委員

観光庁 地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業 専門家

大阪、滋賀、和歌山、岡山で宿泊施設も運営。これらの宿泊施設で「Traveller Review Awards 2025」をダブル受賞。

4. 新商品開発

忽那 公範
(くつな きみのり)



株式会社わくわく商品開発研究所代表取締役

花王(株)にて、スキンケアやヘルスケアの商品開発を担当。ビオレでは、ビオレ毛穴パック、ふくだけコットン、さらさらパウダーシートなど新しく市場創造する商品をはじめ多くの商品開発を担当(14年)。めぐリズム(蒸気でホットアイマスクなど)事業の立上げでは商品開発から情報発信まで担当(11年)。

現在は、大手素材メーカーで、消費者視点の商品開発をするかたわら、「わくわく商品開発」のコーチングを中心に活動。担当者がわくわくしながら、自社の素材や技術の強みを活かして、消費者にとって新しく魅力的な商品開発をコーチングしています。茨城大学非常勤講師。

5. デザイン経営

浪本 浩一
(なみもと こういち)



株式会社ランデザイン代表取締役
アートディレクター、グラフィックデザイナー

企業、商品、まちのブランディングに関わるデザインなどを手がけている。また企業のクリエイティブ顧問として、企画・デザインに取り組み、社内のクリエイティブ能力の開発を行っている。
『モリサワタイプコンペティション2014』和文書体部門 金賞、欧文書体部門 銅賞、明石賞受賞。2017年9月 ブルーノ・ムナリー協会会長、シルヴァーナ・スペラッティ氏による「ブルーノ・ムナリー・メソッドの基本要素」に関する18時間の講習会修了。2020年グッドデザイン賞(奈義町多世代交流広場)
日本グラフィックデザイナー協会正会員 成安造形大学非常勤講師 大阪パッケージアカデミー企画運営

6. キャリアオーナーシップ

嶋田 崇孝
(しまだ むねたか)



ストライプコンサルティング
&コーチング合同会社 代表社員

神戸芸術工科大学卒業後、メーカーの宣伝業務、企画会社のディレクターを経て、約15年間ベネッセコーポレーションにてマーケティングやデジタル系教育サービスの新規事業推進を行う。アンドロイドタブレット開発など100名規模のプロジェクトもプロマネとして推進し、アプリ等のゼロイチのプロトタイピングも得意としている。
2012年ベネッセ次世代リーダーに選拔され、シリコンバレーへ渡米。2017年経済産業省主催始動ネクストイノベーター選抜。2018年名古屋商科大学大学院・イノベーションMBA修了。
PIVOT社にて、R&D部門と組織開発マネージャーを兼務し、ティール組織開発を推進している。ストレングスファインダー認定コーチ

7. 健康経営

阿部ジョージ雅行 (あべ じょーじ まさゆき)



ボディチューン・パートナーズ代表取締役社長。

富士銀行入行、みずほFG、ベンチャー企業等を経て、2005年、健康経営、フィジカル・シンキング&ロジカル・シンキングの両利き思考を唱えて当社創業。元体重90キロ超(現在58キロ)。会社後継者、次世代幹部候補、管理職、若手人材を中心に延べ20万人の意識変容に関わり、現在は洋上セーリングを用いたウェルビーイング研修開発に携わる。

趣味は神社巡り・ローラー腹筋・屈み跳躍。東京都新宿区出身。早稲田大学大学院博士課程(満期退学)、明治大学経営卒。

8. 地方発世界

中田 孝一 (なかた こういち)



株式会社中田工芸会長

父が創業した木製ハンガーの会社を継ぐ以前は、大手マネキン・ディスプレイ会社で勤務。百貨店担当の営業課に配属。同社では、紳士服、婦人服売り場を中心として営業活動を行なう。数々の新ブランド・新売り場立ち上げに立会い、企画から製作指示、納品を経験する。

その後、家業の木製ハンガー製造業に従事。1980年代のファッションビジネスの隆盛期から今日にいたるまで、木製ハンガーの企画、製造、販売を手がけ、木製ハンガーの主流を形成しつつ約35年になります。その間に、ヨーロッパ、アメリカ市場の調査や販売を手がけ、欧米のハンガーメーカーとも連携を持つ。

9. オーガニック

福井佑実子
(ふくい ゆみこ)



株式会社プラスリジョン代表取締役

民間企業、国立大学産学連携組織勤務を経て現職。社名には、常に「プラスする」のは「リジョン(融合)」の視点で、という活動方針を込めている。農業分野と福祉分野の融合事例として「オニオン・キャラメリゼ」のプロデュース実績があり、ユニバーサル社会づくり賞・兵庫県知事賞を受賞している。農林水産省施策・6次産業化プランナーとしてまた有機JAS検査員として国内外200以上の支援実績があるほか、IFOAM-Organics (国際有機農業運動連携) ASIAの日本人唯一の理事として活動をしている。

大阪府第4次福祉計画策定委員(2010~2011年)、農林水産省6次産業化プランナー(2012年~)、有機JAS判定員・検査員(2014年~)、神戸市創成会議委員(2014~2016年)、兵庫県/農イノベーション専門相談員(2016~2018年)、神戸市デザイン都市推進会議委員(2016~2017年)、兵庫県農林水産政策審議会審議委員(2019年~2021年)、兵庫県有機農業研究会HOAS理事(2019年~2023年)、IFOAM-Organics ASIA理事(2021年~2024年) EAT LOCAL KOBE FARMERS MARKET 理事(2024年~)

10. 地域コミュニティ

礪井 純充
(いそい よしみつ)



まちライブラリー提唱者

1958年大阪市生まれ。一般社団法人まちライブラリー代表理事。大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。経済学博士。

1981年、森ビル株式会社に入社し「アーク都市塾」「六本木アカデミーヒルズ」などの文化・教育事業に従事。取締役広報室長などを歴任。

2011年に「まち塾@まちライブラリー」を開始。以降、「まちライブラリー」の提唱者として活動の運営・サポートを行う。2024年、第24回図書館サポートフォーラム賞を受賞。

著書に、『マイクロ・ライブラリー図鑑』(まちライブラリー、2014)『本で人をつなぐ まちライブラリーのつくりかた』(学芸出版社、2015)『ブックフェスタ 本の磁力で地域を変える』(共著、まちライブラリー、2021)『「まちライブラリー」の研究——「個」が主役になれる社会的資本づくり』(みすず書房、2024)などがある。

11. 生成AI

青木 紘史
(あおき ひろふみ)



株式会社ブルーモンクコンサルティング 代表取締役
CEO/CTO
ITエンジニア × 経営者 × MBAホルダー

ITエンジニアとして大手メーカー・総合シンクタンクなどの大規模開発に従事した後、2007年に株式会社ラジカルオプティを設立。以降、EC開発・基幹システム・業務改革など多様なプロジェクトをリードしてきた。

2016年には上場企業と資本業務提携を結び、プロスポーツチームや著名アーティストの公式ECサイトなどの開発・運営を多数手掛ける。また経営を行う傍らグロービス経営大学院大学でMBAを上位5%の成績で修了。

現在は、株式会社ブルーモンクコンサルティング代表として、

生成AIの導入・利活用戦略を中心に、AIコンサルティング、AI開発、DXプロジェクトのマネジメントを手がける。AIの進化と共に経営・業務を再設計する「AIフロントランナー」として、経営層・現場の双方に橋を架け、実装と成果に直結する支援を行っている。

12. 介護市場

川窪 伸也
(かわくぼ しんや)



オフィス イーラック「office e-rac」代表

山梨県生まれ。1990年に老舗寝具メーカーにおいて新規事業として介護用品事業を立ち上げ。メーカーとして、流通（卸業）として、介護保険福祉用具貸与サービス事業者（小売）として事業を展開。2010年に大手医療用ベッドメーカーに移り、ユニバーサルデザイン・ベッドの担当部長として販路拡大に奔走する。2021年からは「オフィス イーラック」を展開。高齢者向け生活用品のマーケティングコンサルタントとして、日用品メーカーや福祉用具メーカーと販路開拓や商品開発の相談に応じている。

2025年、団塊の世代が後期高齢者に。圧倒的に介護のニーズは拡大。しかし、それを支える社会保障制度は、持続可能を目指し蛇口を閉めにかかる。制度に依存しないビジネスをどのように構築するのか？

著書：「売れる！福祉用具販売のツボ」（文芸社 2022年）
2005～10年度 日本福祉用具・生活用具協会（JASPA）社会制度委員会副委員長、
2015年10月～ 一般社団法人日本睡眠改善協議会 評議員、現在に至る。

介護支援専門員、福祉用具プランナー、睡眠改善インストラクター等の資格を有する。

13. プライス(価格)戦略

清水 憲彦
(しみず のりひこ)



スプリングプランニング 代表

株式会社阪急百貨店にて、海外商品開発、店舗開発、社員教育、採用、評価制度の構築と定着教育、財務企画を担当したのち、人材開発部長、ファッションMD計画部長を歴任。その後、独立。その間、全マネジメント職に対しての考課者訓練から、目標面談制度導入における面談技術習得のチーフトレーナーを行うなど、評価制度の構築から定着までを統括。
また、JR東日本が進めるエキナカ事業「エキュート」の立ち上げメンバーの育成を行い成功に導くなど、社内外の人材育成に対して実績を持つ。
2001年より(社)日本マーケティング協会マスターコース関西で「マーケティング財務」と「価格戦略」の授業を担当。理論と実践が融合した教育内容から人気講師として高い評価を受けている。
2015年より大阪大学大学院の非常勤講師として「情報分析基礎」を担当している。

14. EC戦略

藏内 淑行
(くらうち ひでゆき)



DMGコンサルティング株式会社
代表取締役

マーケティング代理店で事業推進担当として航空会社の通信販売事業構築、Jリーグのサポーターズ事務局運営や化粧品通販など、数々の業務に携わった後、01年(株)ダイレクトマーケティンググループ入社。
グループ会社の医薬品通販専門店「たなべ薬房」の経営並びに通信販売企業のコミュニケーション計画やCRMセンター構築、B2B2Cの営業支援、Eコマース戦略支援などのプロジェクトマネジメントなどを中心に活躍中。
宝塚大学大学院講師、ダイレクトマーケティング学会講師、一般社団法人「日本通販CRM協会(JeCRM)」の特別顧問も務める。
共著として「CRMの時代へ、リピート型通販を目指す方の『単品通販実践マニュアル』」(2015年4月)、「失敗しない単品通販」(2011年2月第4版)などがある。
2015年グループ内にて起業を行い、DMGコンサルティング(株)の代表取締役に就任。

高橋 健三(たかはしけんぞう)

株式会社スマイルマーケティング なにわのマーケティングコーチ・CEO
大阪生まれ。大学卒業後、マーケティングエージェンシーから、企画会社
の共同経営者を経て、2003年株式会社スマイルマーケティングを設立。
なにわのマーケティングコーチとして、企業、行政、大学、商工会議所、JC
等で年間100本以上の講演や研修に登壇。
身近な事例をふんだんに使う講座は、誰にでも分かりやすいと定評がある。
またMBAスクールで学び、実務を通じて身につけたフレームワークと、
持ち前の発想力を縦横に発揮し、商品開発や市場開拓のマーケティング
プロジェクトも数多く推進中。グロービスオリジナルMBAプログラム修了。
青山学院大学ワークショップデザイナー履修。



日経MJの記事をヒントにしたコラム「ちょっと気になる4P戦略」をメルマガで配信中
3月、6月、9月、12月に「マーケティング妄想バー」を主催

登壇実績

- 大阪府「なにわマーケティング大学」講師
- 大阪市「商業パワーアップ事業」講師
- 大阪商工会議所「中小事業者向けセミナー」講師
- 日本経済新聞「日経Wアカデミー」講師
- 関西ファッション連合SDGs推進サポーター
- 国立大学法人「琉球大学国際地域創造学部」非常勤講師



著書及び執筆参加

- 「社員の能力を120%引き出す研修講師32選」
(PHPエディタース・グループ)
- 「もう安売りしかないと思う前に読む本」(セルバ出版)
- 「コンサルタントが使っているフレームワーク思考法」(中経出版)
- 「ビジネスマンのネタ帳「スマイルマーケティング手帳」(SMILE-MK)



これまでの登壇実績(一部)



2003年「タイガース公認グッズ 眼力めがね」
球団公認の応援グッズをクラウドファンド方式で
開発～販売しました



2009年「OSAKA旅めがね」
水都大阪クルーズ＆ウォークのコースとして京橋の
町歩きを開発～ガイドしました



2011年「御堂筋野菜クラブ」
オフィスで無農薬野菜を育てて楽しむ倶楽部を開
設～運営しました



2015年「せんば仏像カフェ」
インテリア仏像を眺めながら珈琲が飲める仏像カフェ
を企画～運営しました

